



蜘蛛は尻
おしら口から糸を吐き

※おしらとは蚕(かいこ)のこと。また、
おしらは東北地方の民間で信仰する養蚕の神。

過労死でGDP^{*}の底を上げ

裁量の一物ありて針を呑む

猫かぶる パンドラの箱匿し置き

付度の 筆を曲げては蜜を舐め

古巣より一癖おくる 大蔵省

赤べこが^{*} それはそれほと首を振る

改竄書 ほとけの拇印血にしみて

モリトモの非ずのゴミに蠅がわき

財務省 知らぬ仏が鼻くくり

上を読む ひらめひがらめ出世魚

※赤べこ||東北地方の郷土玩具。首振り牛。

太田理財局長の苦渋の顔やしかり。

糞虫のとどのつまりの美学かな

地球儀のハエが汚穢おひのしみのこし

日報の飛んだ着弾 海苔ひに巻き

嘘の皮 千枚通しに重ね舌

撥ねものと思えど喰えぬ 二※つ瓜

九条の托卵^{*}ありや 自衛隊

トランプの破れ風琴手がおよぎ

身の丈を 嘆きの壁にかさね置き

レイシスト 国の境に唾の壁

負の遺産 宿痾かなしき吹出物

※托卵＝カツコーなどが他の巢に卵を生みつけ育てるたぐらみ。
軒先借りて母屋乗っ取る、アベの改憲みえかくれ。

ひよつこりとふく[※]べ非核の駒を吐き

核非核ヤジロベエの掌がふれて

いわれなき 核の土俵で手打式

ころげても蚊帳の外なる 咳払い

いくさごと[※] アショア欲しがる小児病

※ふくべし瓢箪で作った酒器など。ひょうたんから駒の譬えあり。語感それとなく。
※アショアアロージス・アショア。怖いロケットを落とす迎撃システムだつて。

二つで四千億円をこえるお買い物。

国難のしつぽを踏めば 御本尊

不離不即 きんぎよの糞のまつろいて

腹心のとも先掛けて汁を吸い

岩盤に穴をあけたる 災禍国

自民亭 かたや濁流どろの杯

ジエノサイド女だてらの 鉦をふり[※]

頬かむり オオムの闇をくびりしや

ヘツドギアかたや 国家の走狗あり

ぬいぐるみ日本会議の紐 こぼれ

髪型を後光に梳いた悪女哉

※ジエノサイド＝人種・宗教などを対象とした集団殺戮。

処刑の前日「自民亭」に於いて総裁はじめ上川法相を交えた宴あり。

剣山の危草※あやうぐさあり たおりしや

マスメディア折り目なき世の紙細工

NHK ※二度酒手をふんだくり

廃炉待ち モンジュ鱈腹ゼニを喰い

キチガイの刃物わたりて原発忌

※危草は絶壁など危い場所に生い立つ草。根なし草のたぐいか。
※二度は国家予算と直接税（視聴者）。

元号を弔旗に結び　すだく虫

象徴^{*}の　鳥は青いか籠の鳥

ヤスクニの亡者脚なき　そろい踏み

食わせ者　ナチの張りぼて脚を組み

おむつ曳き　神の僕^{しもべ}は這ってゆき

※天皇アキヒトの思い如何ほどなりや。昭和一桁先がない。

カメムシの 神の造りし匂い哉

寸の虫いくさ知らずや死んだふり

門付かどづけのもらい少なき 秋のてふ

せつなくて 闇をつむぐや烏瓜

掌にホタル 透影すきかげもとめ籠の骨

動かざる座右の銘の 墓

ひきがそる

平成のつんぼ棧敷に木魚哉

花かつを 一膳めしに踊りだし

一筆のエナメル置きて 唐辛子

とんがらし

ぶったくり李下のかんむり色をなし

繭ひとつ民は サナギで茹で上り

モンサント^{*}おのれの外は 薬殺し

線虫のわれ縛りしも 身はいずこ

希望にはしつぺ返しがお伴して

絶望も或る日いのちの こやし哉

※モンサントはベトナムでの枯れ葉剤、農薬除草剤などアメリカ大手の薬剤会社。

俳諧の 手箱かなしき文一つ

死にそびれホタル浮き世の 火を点し

門火かどびもて死者とたわむるホタル哉

蝉脱せんとくの闇の儀式を 陽は視みずや

蜉蝣かげろうの透けた衣を 月のぼる

糸とんぼ儀式沈めて 水の青

ゲンゴロウ泡の命を 尻につけ

蝟螂の花の狩人 風に揺れ

法師蟬かおに冷たき 虹しぐれ

うつせみの 空と雲とを掻き筆り

地獄蝶[※] 死に化粧あり展翹板

鬼蜻蜒^{オニヤンマ}ひとり黄泉路を 迷いしか

蚊柱と編笠^{※1}たてり 背戸の藪

まやかしの国の ボタン^{※2}を三つ押し

※地獄蝶はクロアゲハの異称。関東地方の呼び名とか。

※1 深い網笠を破り、尺八を吹いて物を乞うた修行者。虚無僧。
※2 おぞましい扉に隠した国のへソ。